

○種目別開催要項（案）

【剣道交流大会】

1 競技規則

大会開催時点での一般財団法人全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則及び剣道試合・審判細則」による。

2 競技方法

- (1) チーム対抗の団体戦とする。
- (2) チームを4または5チームごとの16ブロックに区分けしてリンク方式による予選リーグ戦を行い、各ブロックの1位チームによる決勝トーナメントを行う。
- (3) 予選リーグ戦・決勝トーナメントとも試合時間は4分間とし、制限時間内に勝敗が決しないときは引き分けとする。
- (4) 予選リーグ戦の順位決定は、次の順序で行う。
 - ① チームの勝数が多い方とする。
 - ② チームの勝数が同数の場合は、チームの敗数の少ない方とする。
 - ③ ①②が同数の場合は、チームの勝者数が多い方とする。
 - ④ ①②③が同数の場合は、チームの総本数の多い方とする。
 - ⑤ ①②③④が同数の場合は、チームの代表者による抽選で決定する。
- (5) 決勝トーナメントの勝敗決定は、次の順序で行う。
 - ① チームの勝者数が多い方を勝ちとする
 - ② ①が同数の場合は、チームの総本数の多い方を勝ちとする。
 - ③ ①②が同数の場合は、最初の引き分け者による代表者戦によって勝敗を決する。
 - ④ 代表者戦は、4分間1本勝負とし、制限時間内に勝敗が決しないときは2分ずつの延長戦を勝敗が決するまで繰り返し行う。
- (6) チーム編成は、次のとおりとする。

監 督	1人
選 手	5人（70歳以上1人以上、65歳以上1人以上）
交替選手	2人以内
合 計	8人以内

（監督は選手を兼任できるが、その際は選手としても登録する。）
- (7) チームの選手は7段以下とし、交替を行っても競技する5人のうち65歳以上が1人以上、70歳以上が1人以上含まれるものとする。
- (8) 選手のオーダー編成は、年齢の若い順（生年月日順）とする。
- (9) 交替選手の起用については認めるが、交替した選手は再度出場することができない。この場合においても(8)に従い、オーダー編成を行う。
- (10) 監督会議後の選手交替も(7)のチーム編成とし、年齢の若い順（生年月日）に編成し直すこととする。

3 大会規定

- (1) 参加者の年齢は、60歳以上（1962（昭和37）年4月1日以前に生まれた人）とする。ただし、選手5人のうち、70歳以上1人以上、65歳以上1人以上とする。
- (2) 65歳以上とは1957（昭和32）年4月1日以前に生まれた人、70歳以上とは1952（昭和27）年4月1日以前に生まれた人とする。
- (3) 試合の組合せは、主催者及び主管団体で行う。
- (4) 監督・交替選手についても、剣道着・袴とする。